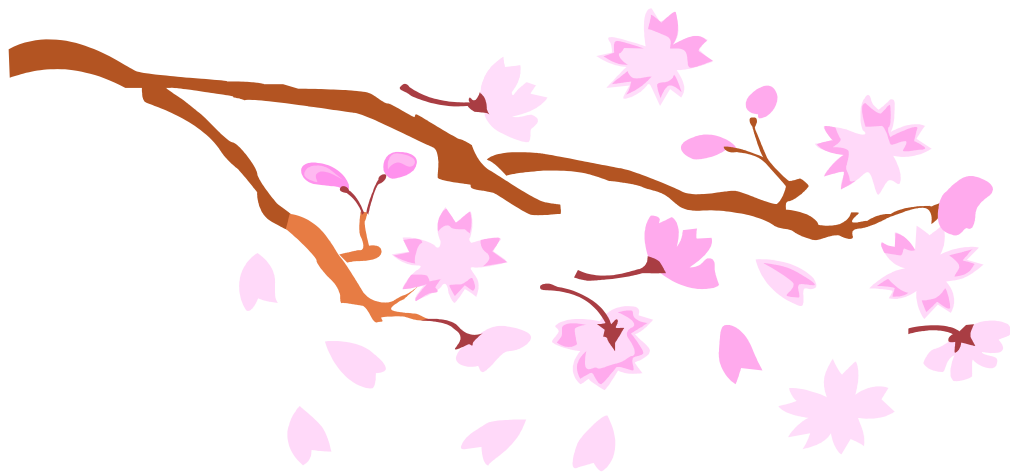


令和元年度

学校評価結果資料



文京区立駕籠町小学校

目 次

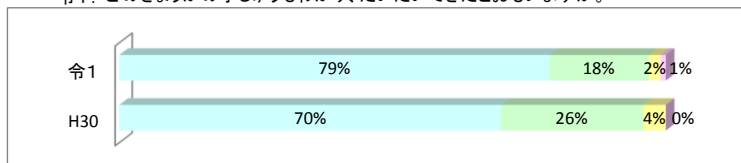
・ 学校生活についてのアンケート（児童）	・・・	1
・ 学校教育活動に関する保護者アンケート	・・・	4
・ 自己評価（教職員）	・・・	6
・ 学校運営連絡協議会のご意見	・・・	9

学校生活についてのアンケート(児童) 分析及び考察

■ A: そう思う ■ B: ややそう思う ■ C: あまりそう思わない ■ D: そう思わない

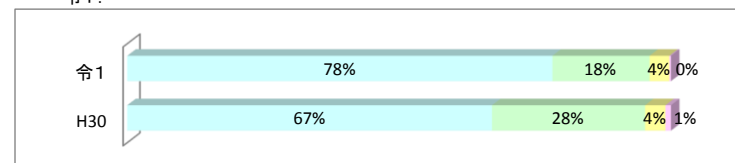
1

令1: どのきょうかの学しゅうもわかり、だいたいできたとおもいますか。



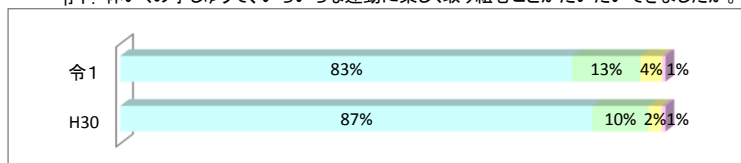
2

令1: 友だちと、わからないことをそうだんしたり、こまっているともだちをたすけたりしながら、べんきょうできましたか。



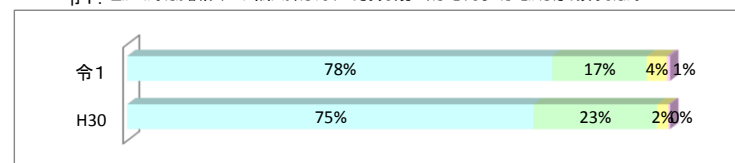
3

令1: 体いくの学しゅうで、いろいろな運動に楽しく取り組むことがだいたいできましたか。



4

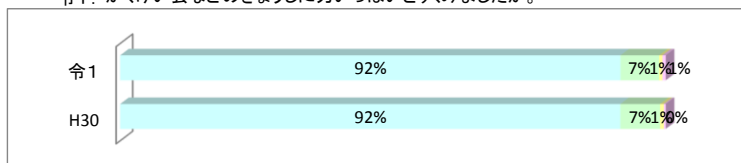
令1: 生つかまたは若竹タイムの時間には、たのしくべんきょうし、見つけたことやしらべたことがたくさんありましたか。



5

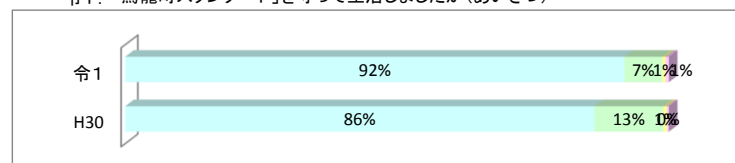
H30: うんどう会、てんらん会などのぎょうじにかいっぱいとりくみましたか。

令1: がくげい会などのぎょうじにかいっぱいとりくみましたか。



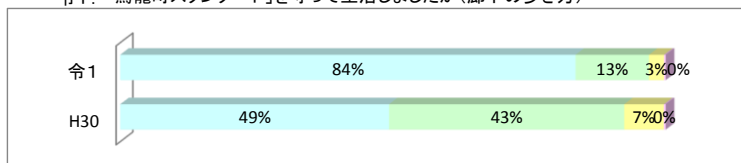
6-1

令1: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(あいさつ)



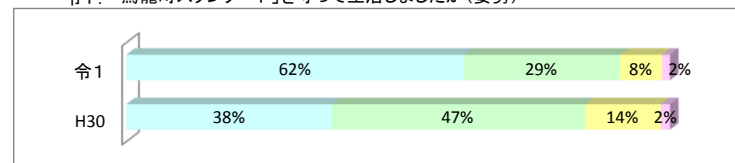
6-2

令1: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(廊下の歩き方)



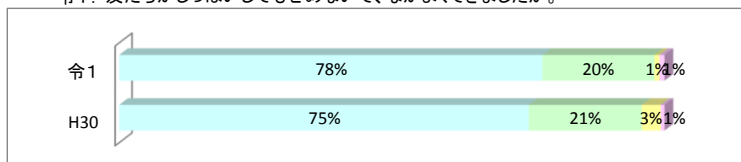
6-3

令1: 「駕籠町スタンダード」を守って生活しましたか(姿勢)



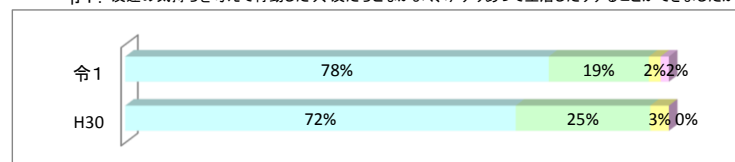
7

令1: 友だちがしっぱいしてもせめないで、なかよくできましたか。



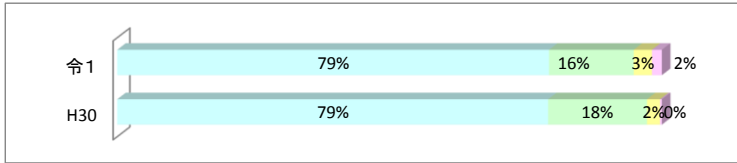
8

令1: 友達の気持ちを考えて行動したり、友だちとなかよく、ゆずりあって生活したりすることができましたか。



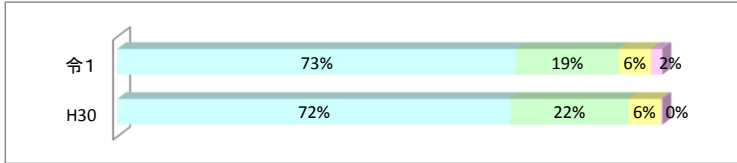
9

令1: 休みじかんは、そとでげんきよく、あそんでいますか。



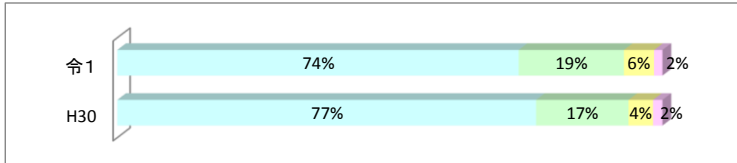
11

令1: おうちの人に学校でのようすをはなしていますか。また、おたよりなどをわたしていますか。



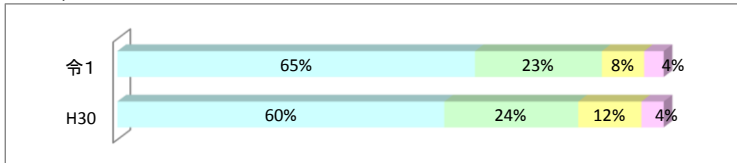
13

令1: 先生とあんしんしてお話ができますか。



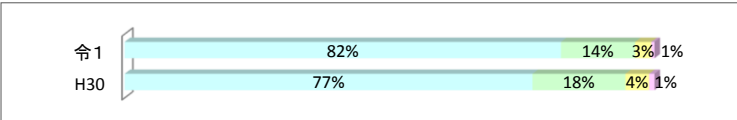
15

令1: あなたは自分のことが好きですか。



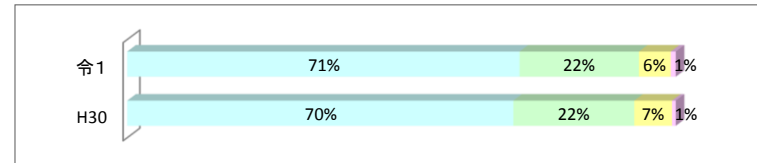
17

令1: あなたは他の人(親・先生・友達など)から大切にされていると思いますか。



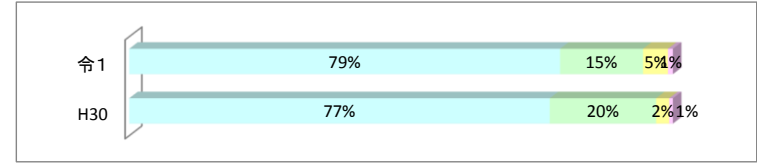
10

令1: きゅうしょくは、マナーをまもり、のこさず楽しく食べていますか。



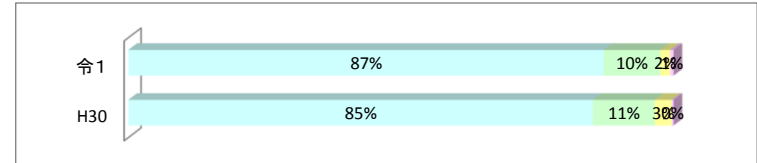
12

令1: じゅぎょうでは、先生に自ぶんの力にあうおしえかたをしてもらっているとおもいますか。



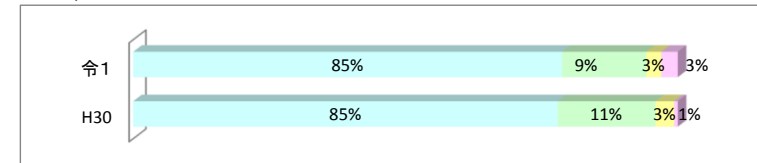
14

令1: クラスの友だちといっしょにあそんだりべんきょうしたりすることが楽しいですか。



16

令1: いま、むちゅうになってとりくめるものがありますか。

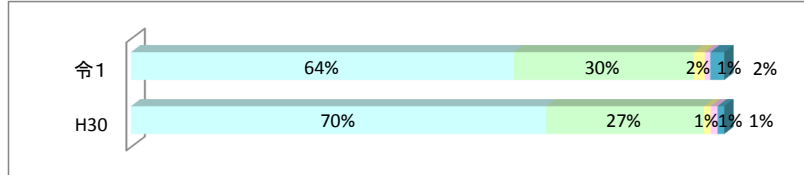


- ほとんどの項目で肯定的な評価が90%に達する結果となった。引き続き児童一人一人を大切に、児童理解に励み、それぞれのよさを伸ばす指導ができるよう、複数の目で児童を見る取組を続けていく。
- ・ 項目2 学習に対する達成度についての質問では「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な評価をした児童が90%以上であった。30年度に比べ「そう思う」の評価が項目2では10%上がっている。さらに授業改善に努め、友達と話し合い、友達と自分の考えを比べて学習内容の理解を深めたり、もっと知りたいという意欲を高めていく。
- ・ 項目6 駕籠町スタンダードの質問については、30年度に比べ、「そう思う」があいさつで6%、廊下の歩き方で35%、姿勢で24%と全体的に上がってきている。今後もきまりを守ることができている場面を取り上げ、指導を継続していく。
- ・ 項目7・8 友人に対し思いやりの気持ちをもって生活できたかの質問では、ほとんどの児童が、思いやりの気持ちをもって生活することについて、肯定的に評価している。30年度に比べて、「そう思う」の評価が項目7で3%、項目8で6%上がっている。今後も、年2回の人権標語作成時や道徳の授業を中心に、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを感じることができるよう指導を続けていく。
- ・ 項目15 自己受容についての質問では、約88%の児童が「そう思う」「ややそう思う」を評価している。しかし、29・30年度と同じように、10%を超える児童が否定的な評価をしているので、引き続き児童のよさを認める言葉掛けやスモールステップにより達成感を感じることができるような学習指導をすることで、自分の成長や自分のよさを感じることができるような機会を増やしていく。

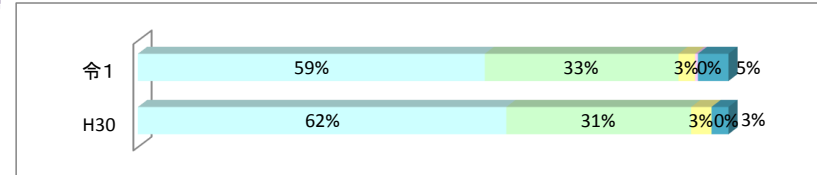
学校教育に関するアンケート(保護者) 分析及び考察 (238世帯中 172世帯提出 回収率72%)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

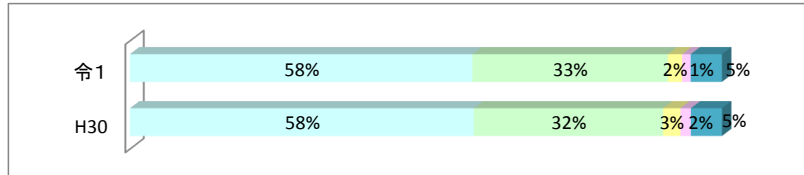
1 ①本校の教育活動に満足している。



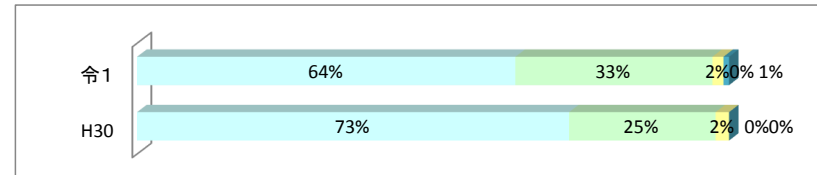
2 ②本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。



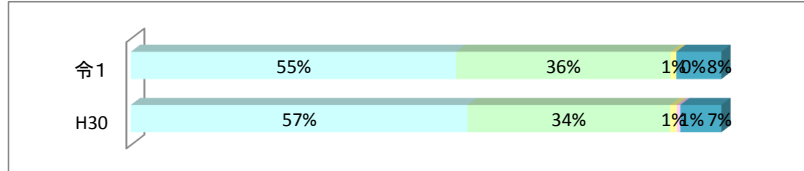
3 ③本校では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。



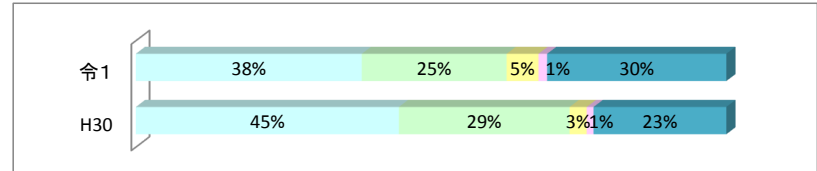
4 ④本校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。(伝統・文化理解教育、オリンピック・パラリンピック教育、体力向上、かごめ班活動、始業前教育活動、習熟度別少人数指導など)



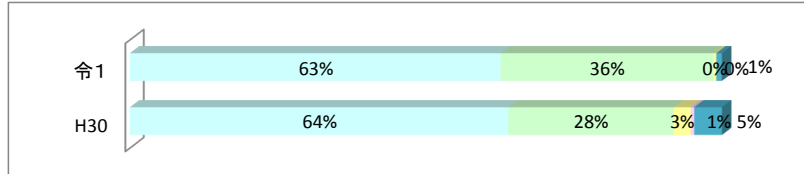
5 ⑤本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。



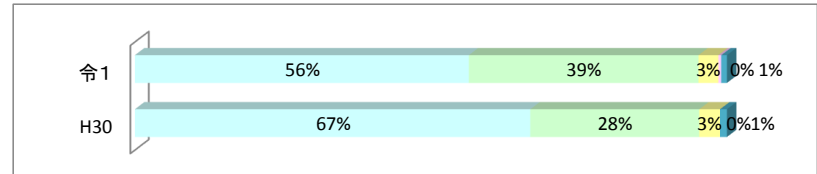
6 ⑥本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。



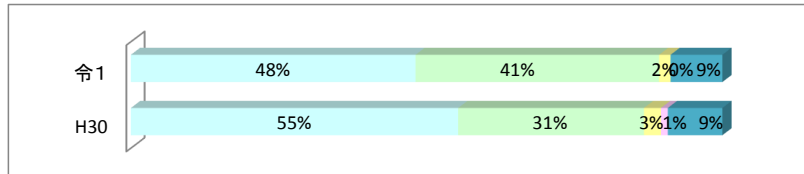
7 ⑦本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。(本校では、避難訓練、安全指導など)



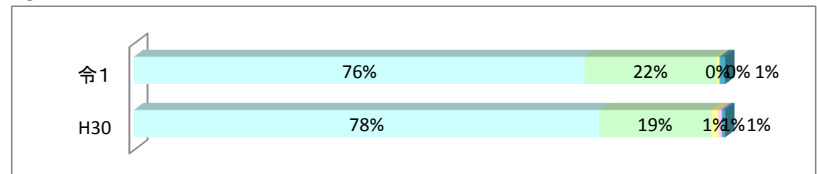
8 ⑧本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。(本校では、学校便り、学年便り、ホームページなど)



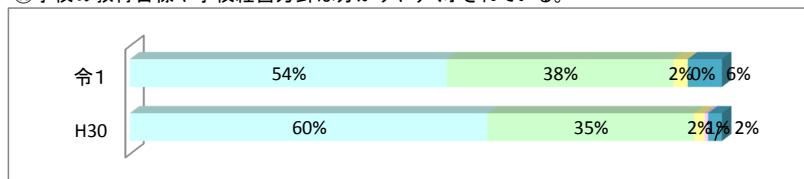
9 ⑨本校は、区や学校の方針等に対する保護者の意見・要望に耳を傾け、協力して教育を進めようとしている。



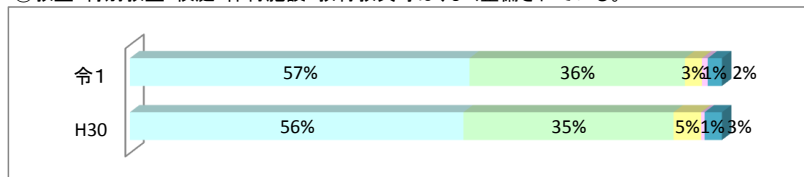
10 ⑩来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。



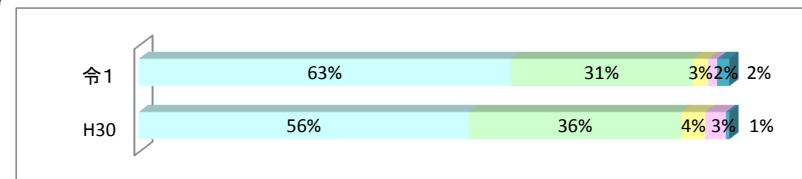
11 ⑪学校の教育目標や学校経営方針は分かりやすく示されている。



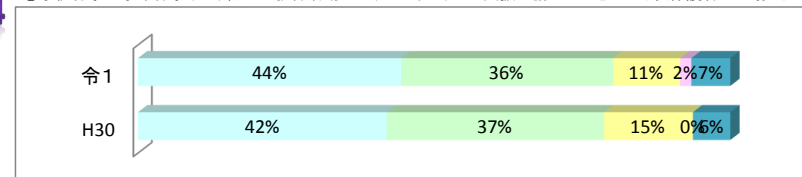
13 ⑬教室・特別教室・校庭・体育施設・教材教具等は、よく整備されている。



12 ⑫学校行事(授業参観等も含む)の開催時期、内容、回数などは、適切である。(年6回の土曜授業公開は区共通)



14 ⑭学校行事や学年行事など、種々の教育活動やボランティアなどに支援や協力ができている。(保護者の立場で)



○ アンケート回収率が全家庭数の72%であり、保護者が学校教育活動に対して高い関心をもっていることが分かる。また、今年度もほとんどの項目で90%以上の肯定的な評価をいただくことができた。否定的な評価や自由意見の御意見を踏まえ、自由意見の内容については直接記入された保護者に詳しくお話を伺い、改善すべき点は改善し、保護者の皆様の願いを受け止められるよう、緊張感をもって教育活動を推進していく。

- ・ 設問1 「そう思う」という回答と「ややそう思う」との合計が94%となっている。本校の教育活動に御理解をいただいていると考える。
- ・ 設問2 92%が肯定的な評価をしているのに対して、「あまりそう思わない」「思わない」としたご家庭が7家庭ある。引き続き、児童が成就感をもって学習したり行事に取り組んだりすることができるよう、教育活動を充実させるとともに、児童理解に努めていく。
- ・ 設問3 昨年度と同様に91%の肯定的な評価である。来年度も引き続き「駕籠町いきいき標語」、9中の生徒が作成した「人権カレンダー」の教室掲示などを通して人権尊重教育の取組を充実させるとともに、「いのちと心の授業」への保護者の皆様に御参加いただき、御理解いただけるよう実践を発信していきたい。
- ・ 設問4 この項目も肯定的な評価が多く、本校が特色ある学校づくりとして継続的に実施している「伝統文化理解教育」「オリンピック・パラリンピック教育」「体力向上タイム」「かごめ班活動」等の取組が、保護者の皆様に見えるかたちで伝わっているということが伺える。
- ・ 設問6 この項目では、「分からない」という評価が増加しているが、保護者自由意見の中に「いじめなどの対応については実の経験がないため、『E:分からない』としました。」とあることから、問題行動やいじめ等の事例が発生していないことによる回答とも考えられる。
 - ・自由意見で「学校生活で起きた問題」という観点から御意見をいただくことができた。記名式にしていることで学校としてさらに詳しく情報をいただくこともでき、学校と保護者で双方向の関係が成立させることができる。本校では、このような観点からもアンケートを記名式でお願いしているのでご理解をいただきたい。学校としては、引き続き、未然防止に役立つような情報や指導の内容を可能な範囲でお知らせし、保護者の皆様に説明するとともに、協力を仰いでいく。
 - ・これからも、学校生活で起きた問題に対して組織的な対応をするとともに、「いじめアンケート」の結果を踏まえて、児童一人一人からの聞き取りをていねいに行い、迅速に対応していくことが大切であると考え。
- ・ 設問7 肯定的な評価が、昨年度の91%から99%に上昇している。これからも引き続き、避難訓練や安全指導の充実、怪我や事故の未然防止に努めていきたい。
- ・ 設問9 「そう思う」という回答が昨年度と比較して3%増え89%となっている。今後も保護者の皆様や地域の皆様と連携を図りながら、教育活動の充実を努めていきたい。
- ・ 設問11 学校の教育目標や学校経営方針について「分からない」という評価が6%である。学校では、年2回の保護者会全体会や「学校だより」で学校の教育目標や学校経営方針を紹介している。また、ホームページでも学校経営方針に基づいて実施している学校行事の紹介などを紹介しているので、具体的な取組の紹介をさらに充実していきたい。

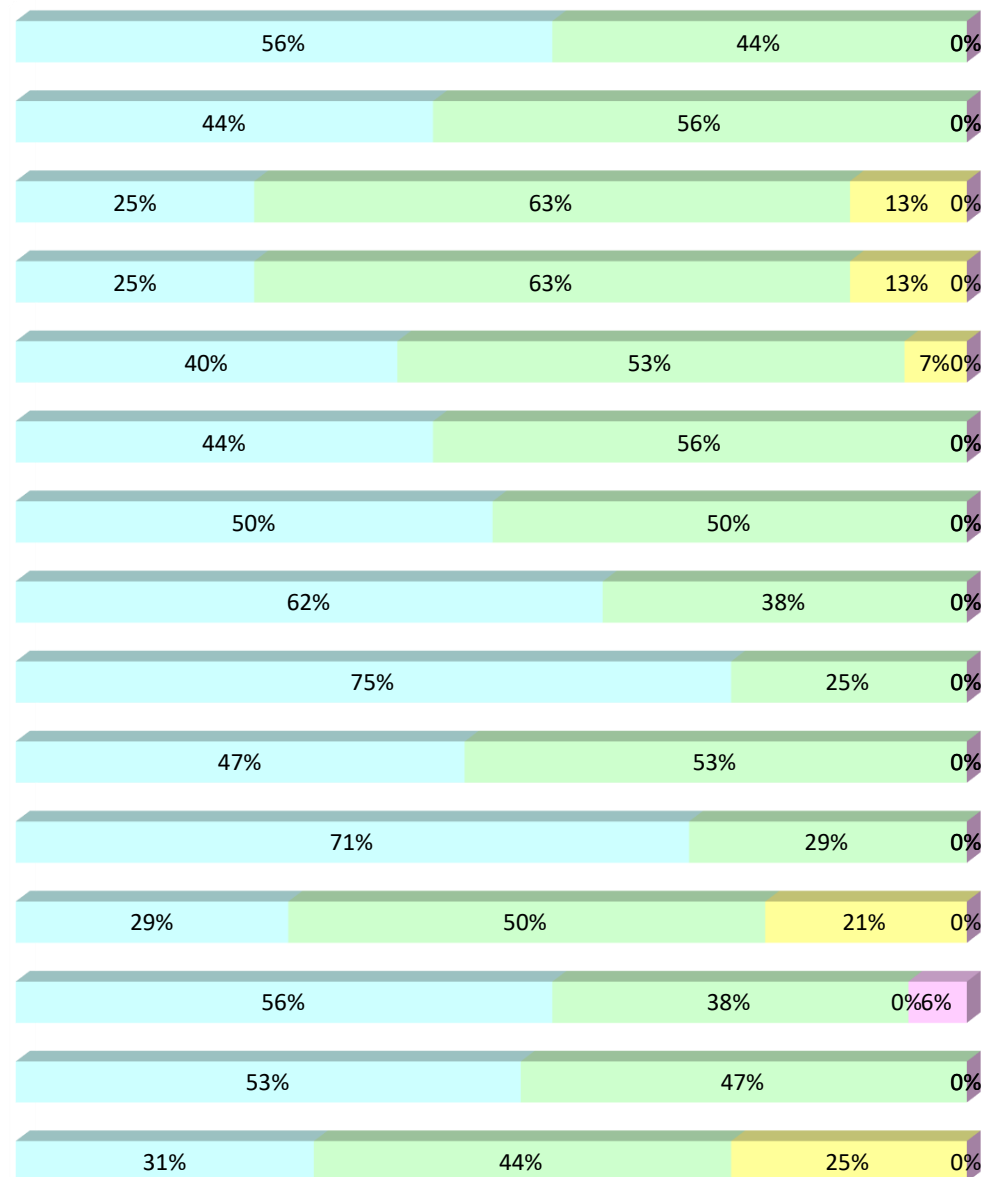
○ 今年度も、昨年度と同様に、ほとんどの項目で90%以上の皆さまから肯定的な評価をいただいているが、「そう思わない」「分からない」という回答が多い項目を中心に教育活動の充実を図り、父母と先生の会の運営委員会や学校だより等を通して発信するとともに、保護者の皆様の願いを受け止められるよう、教職員一同、緊張感をもって教育活動を推進していく。

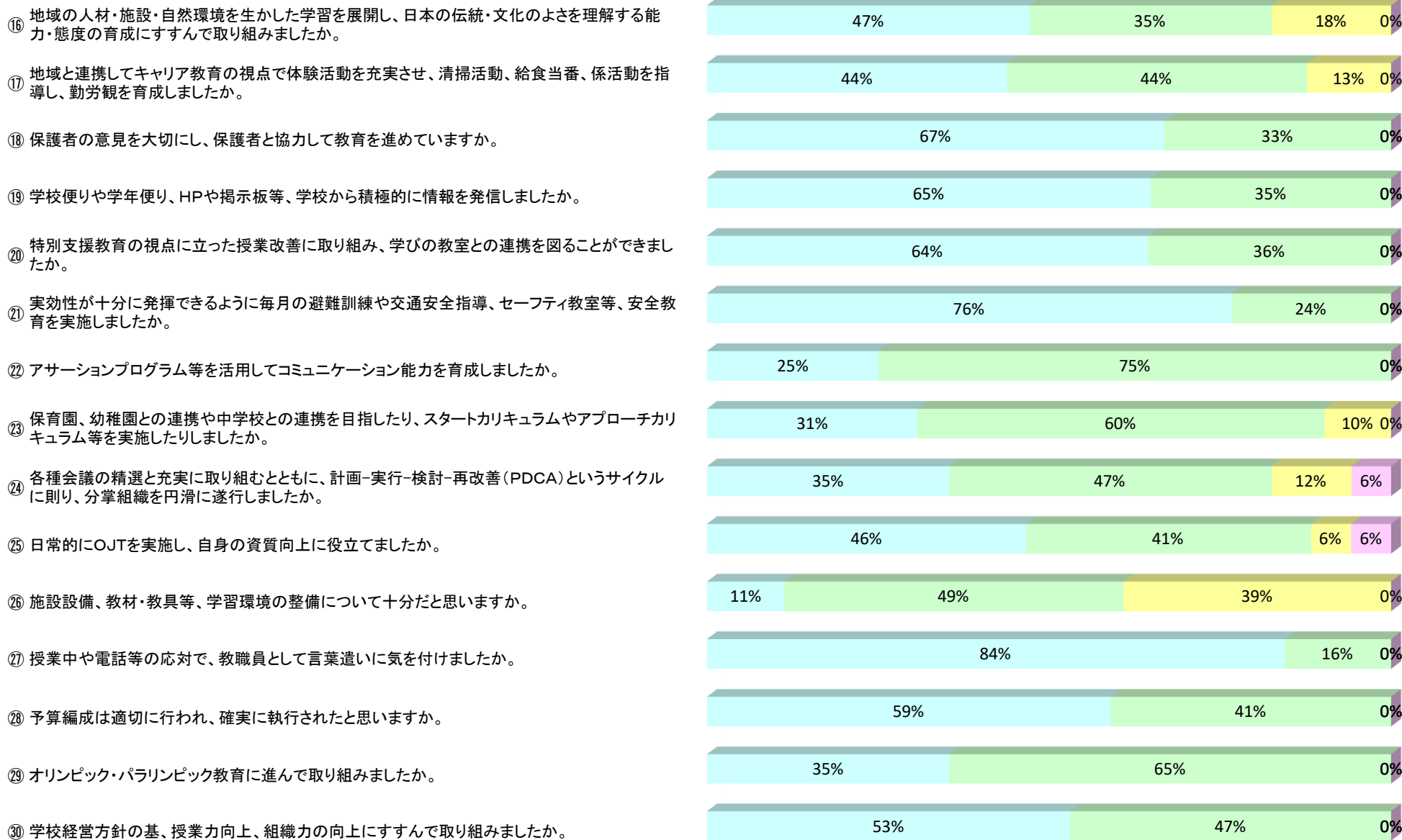
令和元年度 自己評価(教職員)

【3】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

- ① 義務教育9年間を見通し、学習規律の徹底を図りましたか。
- ② 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために、根拠をもって考える授業を工夫し、実践しましたか。
- ③ 思考力・判断力・表現力を高めるために、問題解決的な学習や東京方式の検討場面等の充実を図り、授業を実施しましたか。
- ④ 授業のユニバーサルデザイン化に対応するための指導を実践しましたか。
- ⑤ 総合的な学習の時間や教科の学習において、専門家や外部の人材を活用したり、体験活動を充実したりして、教科等を横断した問題解決的な学習や「探究」活動へと発展させるような学習活動を展開しましたか。
- ⑥ 全ての教科において言語活動を充実させた授業を展開し、言語環境を整え、板書や掲示物にも留意し、正しい日本語を使用しましたか。
- ⑦ 日常から「駕籠町スタンダード」の徹底を図る指導をしましたか。
- ⑧ 「共生」を重点とした道徳の時間を充実して、思いやりの心を育てましたか。
- ⑨ かごめ班活動を充実させ、異学年交流を積極的に進めましたか。
- ⑩ 特別な支援を要する児童への適切な支援をしましたか。
- ⑪ いじめ防止基本方針に基づき、いじめ・不登校の早期発見、再発防止に努めましたか。
- ⑫ 体力・運動能力テストの分析を基にした学習カードの活用等を工夫し、体育の授業を改善・充実しましたか。
- ⑬ 健康・安全についての理解を深め、体力を高めるために、体力向上タイムを生かし、ラジオ体操・お店屋さん等の取組を充実しましたか。
- ⑭ 栄養士や体力アップトレーナーと連携し、体力向上・保健・給食指導、食育に力を入れ、望ましい心身の成長を目指しましたか。
- ⑮ 地域の人材・施設・自然環境を生かした活動を取り入れ、社会性や地域を誇りに思う心情を育む教育活動を進めましたか。





令和元年度 学校評価(教職員)分析

- 全30項目中27項目で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると80%を超える。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している教職員が20%前後いる項目の課題解決のため、さらに研修等を充実させていくとともに施設設備等の学習環境を改善する必要がある。
- ・ 項目3 学習指導に関しては、目指すところに到達していないと感じている教職員が13%いる。思考力・判断力・表現力を高めるために、今後も校内研究やOJT、区の研究会などを活用しながら情報を共有する必要がある。また、授業を通して、児童にどのような資質や能力を育てていけばよいのかを明確にし、授業改善を行っていく必要がある。
- ・ 項目4・10 昨年度に引き続き、教育活動のユニバーサルデザイン化を目指して、時計や生活目標等の教室掲示を統一し、どの教室に行っても、視覚への刺激の少ない、集中できる環境になるようにした。また、特別支援教育の視点から、板書、掲示物などを工夫し、全児童がわかりやすく学習できるよう努めた。今後も駕籠町小学校の児童に合わせた、教育活動のユニバーサルデザイン化を進めていく。
- ・ 項目8 昨年度同様に道徳では、「共生」と「思いやりの心」を育む指導に重点をおいてきた。平成30年から「特別の教科道徳」となり、道徳の指導の充実を図ってきた。指導の成果はすぐに表れることではないため、今後も道徳教育の充実を行う必要がある。また、保護者・地域の方々とも協力しながら子供たちの「共生」の心を育ていけるように、道徳授業地区公開講座などを活用して、情報を発信していく。
- ・ 項目11 いじめなどについては、児童に対する学期毎のアンケートや、毎週木曜日に児童の情報共有の時間を設けるなどして、未然防止対策を行っている。そして、必要に応じてスクールカウンセラーや教育センターなどの外部機関とも連携を図れる体制は整っている。また、保護者に対しては、「いじめの未然防止・早期発見の取組計画」を4月の保護者会時に配布し、家庭との連携を図っている。今後も、全教職員が未然防止・早期発見に努めていると回答できるように、これらの取組の充実を行っていく。
- ・ 項目12・13・14 今年度、校内研究を体育で行った。器械運動の動きのコツをつかませる指導をしたり、運動の場を工夫したりした。また、体力アップトレーナーとも連携を図り、授業の充実を図った。体力向上タイムを活用して、様々な運動経験を積ませるため、縄跳びやヨガ、鬼遊びなどの場を設定し、「お店屋さん」としての取り組みを行った。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している教職員が6%～20%程度いる。今後も体育の授業や体力向上タイムの活動を充実させていく。
- ・ 項目15 地域の人材を活用した茶道教室、地域にある東洋文庫の見学等、地域への愛着を深める教育活動を進めている。今後も地域教材を生かした教育活動を行っていけるよう年間指導計画に位置付ける。
- ・ 項目16・28・29 昨年度同様、地域や東京都、日本への愛着を深める教育活動になるよう、オリンピック・パラリンピック教育、日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業、地域の人材・施設の活用などの実績を今後へ引き継ぎ、更により良いものとしていく。
- ・ 項目26 施設に関しては、毎月の安全点検を通して、校内での生活が安心・安全に送れるか確認を行っている。また、教材教具については、次期学習指導要領に伴う新しい学習内容に必要なものは、引き続き計画的に購入し、整備していく。学級増に伴い、児童の作品や教材教具を保管する場所が限られていることや、雨漏りがする教室があったことなどから自己評価の数値が他の項目よりも低い。家庭科室、理科室等の特別教室の整備については、父母と先生の会とも連携し、引き続き区への要望事項としていく。

学校運営連絡協議会の皆様のご意見

○ 総括的意見

<確かな学力>

- ・教職員の自己評価を見てみると、「学習規律の徹底」や自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために「考える授業の工夫や実践」に全体で力を入れて取り組んだことがうかがえる。

<豊かな人間性>

- ・児童アンケートの友達との関係がアップしているのは、教職員の児童への適切な指導の賜と思います。
- ・駕籠町スタンダードやかごめ班活動は具体的であり、目に見える活動で実効が上がっているように思う。それが相乗効果になってモラルに好影響を与えているようだ。
- ・「先生とあんしんしてお話ができますか」に対してそう思わないと回答している児童が2%など否定的な回答をしている児童への対応も必要です。
- ・保護者アンケート、学運協アンケートの結果から、いじめ等の対策をしっかりとっていることが分かるとよい。

<心身の健康と体力の向上>

- ・児童数の増加に伴い、学校全体が窮屈になっている感じがする。それが多方面に影響を及ぼしているのではないだろうか？この窮屈さが、全体的なアンケート結果に現れているのかもしれない。伸びやかさは環境による要素も大きいと思う。
- ・今年度は校庭改修が行われ、その間は活動等に制限がありましたが、これからは思いっきり遊べますね。

<特色ある教育活動>

- ・地域柄、アンケートの回収率にもうかがえるように、学校教育への関心の高さがあり、児童数の増加に伴い、保護者の教育活動への理解をどう図っていくか、公教育でどこまで各家庭のニーズに応えるのか、先生方の大変さを感じる。

○ 全校で共有できる意見

<肯定的意見>

- ・全体的に評価が高く、学校運営が滑らかに進められているのだと思いました。教職員の皆様も自校の運営に積極的に関わり、よい自己評価につながっているのだらうと読み取りました。
- ・児童アンケートから、昨年度に比べ今年度は「そう思う」と回答した割合が全体的に高くなっていることから、児童が学校生活を充実したものにできていると感じました。特に上がっている部分について、学校がどのような対策を具体的にとられているのかを外部に対して積極的に発信していくとよいのではないかと、思います。

<改善に向けた意見>

- ・児童アンケートでの体育の学習や外遊びの肯定意見が、ほんの少しですが下がってきているのは、校庭改修があったことが影響しているのか、教職員の肯定的な自己評価の低い部分の結果によるものなのか、教育がすぐに結果に結びつかないこともあるので、来年度に向けて、検討していただけたらと思います。
- ・少数の否定的評価のお子さんに対してのアプローチぜひ大切にしていきたいと、思います。特にいじめについては表面化しにくい側面を含んでいることもあり、保護者の評価でも分からないが多くなっています。対応は難しいと思いますが、引き続き努力されたいと期待しています。